

「confa」は、Consumer(消費者=道民)とFarmer(農業者)のConsensus(合意)から名付けたもので、「消費者と農業者がもっとふれあえるように」「都市と農村をつなぐ架け橋になりたい」という意味を込めています。

CONTENTS

特集 美しい北海道の農村風景 守り継ぐ人々の物語

01 遙かなる農村風景の守り人
根釧台地の格子状防風林
(中標津町・別海町・標津町・標茶町)
佐伯農場(中標津町)

05 開拓者の気持ちで攻めて守る
前田農産食品株式会社(本別町)

07 新しい農村風景・
田んぼアート
たいせつ農業協同組合(旭川市)

08 食味の向上を目指す
道産チーズ
川瀬チーズ工房(長万部町)

09 コンファ農業教室

11 ふれあいファームに出かけよう

13 農家の嫁レシピ
しまねずみファーム(上富良野町)

14 北海道からのお知らせ

ハガキ 野菜がもっと好きになる
ベジスイーツ

巻末 道の駅ドライブMAP
道央・空知エリア

電子ブック公開中!
Hokkaido e-books

こちらのQRコードを
読み取ってください。

<http://www.hokkaido-ebooks.jp>
※スマートフォン、タブレットの方は専用アプリ
(無料)をダウンロードの上、ご利用ください。

特集

美しい北海道の農村風景
守り継ぐ人々の物語

遙かなる農村風景の 守り人

豊かな自然と調和した
北海道の農村景観。
その姿に魅せられて、
尊い価値を守ろうと
努力する人々を訪ねました。

根釧台地に広がる巨大な碁盤の目。広大かつ規則正しく描かれたその光景は、北海道遺産にも選定されている「格子状防風林」です。開拓の時代から農地や人々の生活を守り続けてきたこのカラムツの植林地帯は、後世に残したい風景として、地域の人たちの手により守られ続けています。

その「格子状防風林」のある中標津町で、かつての農村風景に新しい価値を生み出しながら活動する酪農家がいまいます。緑豊かな美しい農場にたたく印象的な建物や造形の数々。佐伯農場・二代目農場長の佐伯雅視さんは、昔からサイロのある牧歌的な風景やアートが好きで、役目を終えたサイロや集乳所として使われていた建物を改修し、版画や写真などを展示するギャラリーに。アート作品に出会える新しい農場のカタチを通し、その風景を後世に残す努力をしています。



佐伯農場
中標津町



農場長 佐伯 雅視 さん



【写真提供】NPO法人 北海道遺産協議会事務局、北海道森林管理局

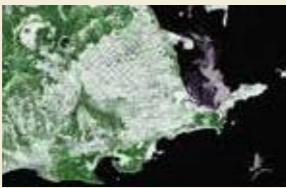
次の世代に残したい
北海道の宝物

北海道遺産
根釧台地の格子状防風林

格子状防風林とは？

防風林の歴史は、北海道の開拓時代まで遡ります。開拓使から招へいされたホーレス・ケブロンによって提案され、冬季の風雪から農地と人々の生活を守るために作られました。なかでも有名なのが、根釧台地にある格子状防風林。中標津町・別海町・標津町・標茶町の道東4町にまたがり、総面積約15,000ヘクタールの規模を誇る巨大な防風林です。

あまりに広大で、地上からではその姿を認識できませんが、2000年に余市町出身の宇宙飛行士・毛利衛さんが宇宙に行った際にスペースシャトルから撮影した映像にくっきりと映り、全国的に話題になりました。防風効果だけでなく、野生動物のすみかや移動通路としての機能も果たしています。



【写真提供】宇宙航空研究開発機構(JAXA)

格子状防風林を 望む展望台 「開陽台」



中標津町侯落2256-17
TEL 0153-73-4787